

重喫煙者に対する低線量 CT による肺がん検診実証事業の日程

- 日時

9/18(金) 9:00～14:30(予定)
R9/1/5(火) 9:00～14:30(予定)
※申し込み状況により時間は変動する可能性があります。
- 場所

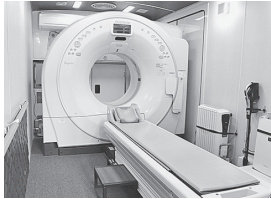
市役所 1 階 あいおい公園側出入口付近
- 内容

重喫煙者に対する低線量 CT による肺がん検診
- 費用

無料(今年度限り)
- 対象者

小諸市在住の今年度 50 歳から 74 歳までの方で、以下の条件に当てはまる方
① 喫煙指数(喫煙年数×1 日喫煙本数)が 600 を超える方
② 禁煙後 15 年以内(2011(H23)年以降に禁煙)かつ過去の喫煙指数が 600 を超える方
- 申込

12/25(金)までに、二次元コードか電話(☎ 25-1880)で申込み
申込みを確認後、健康づくり課から受診票を郵送します。
- 備考

完全予約制となり、上記時間内で 30 分ごと予約時間を設けています。予約がない方、対象にならない方は
実証事業を受診することはできません。ご注意ください。
(40 歳以上の方は従来通りの任意型低線量 CT 検診は受診可能です。)
- 
- 
- 申込みはこちら

喫煙指数の計算例

(例)

現在 60 歳で、20 歳から喫煙を始め、45 歳まで紙たばこを 1 日 20 本、
45 歳からは電子たばこ(スティックタイプ)を 1 日 10 本吸っている場合

喫煙期間				たばこの種類(併用の場合は複数回答可)・1 日平均喫煙本数
	開始	終了	年数	たばこの種類(併用の場合は複数回答可)・1 日平均喫煙本数
①	20 歳	45 歳	25 年間	☒ 紙巻たばこ (20 本/日) ☐ 加熱式たばこ(スティックタイプ) (本/日) ☐ 加熱式たばこ(カプセル/ポッドタイプ)・(1 箱 個入り) (個/日)
②	45 歳	60 歳	15 年間	☐ 紙巻たばこ (本/日) ☒ 加熱式たばこ(スティックタイプ) (10 本/日) ☐ 加熱式たばこ(カプセル/ポッドタイプ)・(1 箱 個入り) (個/日)

※カプセルタイプは 1 カプセル 4 本に換算されます

【計算式】

① 25 年×20 本+② 15 年×10 本=650
600 を超えているため、実証事業の対象者となります



受診にあたっての注意点

- 完全予約制のため申込みが必要です。重喫煙者であっても上記日程以外の任意型低線量 CT 検診の日程で受診する場合は、通常の料金(4,000 円)がかかります。※40、50、60 歳は 3,000 円
- 今年度低線量 CT 検診にお申込みいただいた方のうち、実証事業の該当となる方には受診票を発送しております。
- 任意型低線量 CT 検診にお申込みの方で実証事業の該当になる方は、健康づくり課へお申込みください。
また、重喫煙者の通知が届いたにもかかわらず、対象にはならないという場合も、健康づくり課へご連絡ください。
- 受診当日の聞き取りにて実証事業対象者に該当しないと判断した場合、任意型低線量 CT 検診の日程をご案内することになります。必ず事前にご確認をお願いします。
- 胸部レントゲン検診にお申込みの方でも、実証事業対象者は変更が可能です。ただし CT とレントゲンを重複して受診することはできません。また、実証事業の受診を希望される方は、必ずご予約の変更が必要です。
- 該当するか不明な場合、お電話または窓口でお問合せください。

ご受診
ください

令和 8 年度
重喫煙者に対する
低線量 CT による
肺がん検診実証事業のお知らせ



問 健康づくり課 健康支援係
☎ 0267-25-1880 (直通)

重喫煙者を対象とした低線量 CT による肺がん検診を実施します

小諸市は今年度、厚生労働省が実施する「重喫煙者※1に対する低線量 CT による肺がん検診実証事業※2」へ参加することとなりました。

【低線量 CT による肺がん検診の特徴】

レントゲン検診と比較し、より小さい早期の肺がんを発見できます。特に、喫煙本数が多い方には有効ながん検診と位置付けられており、低線量 CT による肺がん検診の受診により、肺がん死亡率が減少したとの報告もあります。

事業実施に伴い、従来の低線量 CT 肺がん検診のうち、15 ページに掲載の日程で、重喫煙者に限定して検診を実施します。該当する方はこの機会にぜひご受診ください。

※1 喫煙指数(喫煙年数×1 日喫煙本数)が 600 以上の方。

※2 重喫煙者を対象とした低線量 CT 肺がん検診を、対策型検診(ある集団の死亡率を下げるための検診で対象を限定して行うもの)として導入するにあたり、自治体における実施体制の構築や運用上の課題を検証するための事業のこと。対象者の詳細は 15 ページをご参照ください。

今回の実証事業(対策型がん検診)と従来の胸部低線量 CT 検診(任意型がん検診)の違い		
	【今回の実証事業】対策型がん検診	【小諸市の胸部低線量 CT 検診】任意型がん検診
対象者	【確定している】 50 歳から 74 歳の重喫煙者 ※禁煙後 15 年以内を含む - 無症状の健康な者	【確定していない】 40 歳以上の市民 - 無症状の健康な者
目的	対象集団の罹患率、死亡率の減少	個人の死亡リスクを下げる
検査方法	検診車での低線量らせん CT (公的組織が選択する)	検診車での低線量らせん CT (受診者や検診提供者が個々に選択する)
特徴	- がん死亡率の減少が見込める - 検査の特異度※が高い ※がんがない人を正しく陰性と判断する能力	検査の特異度は重視されない
検診費用	無料 (※今年度限り)	一部負担(4,000 円)
検診の利益	対象集団の利益が最大化され、不利益が最小化される	個人の利益が最大化されるが、不利益は必ずしも最小化されない

